



FAVO通信 ～風になれ～



夢を描き希望をもってチャレンジし続ける子どもを育てる

～Never give up on your dream～



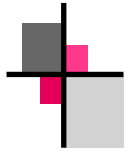
新年あけましておめでとうございます。

旧年中はジュニアクラブの活動にご支援並びにご理解ご協力頂き、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

いつまで続くのかコロナパンデミック・・・感染収束の期待は！！今年はどうな年になるのだろうか？

昨年は、なかなか思うような結果が出せず、勝つことの難しさを知り試合に負け本気で泣いた瞬間もあった事でしょう。しかし多くの人に支えられ、

目標目指した努力は決して無駄ではないはず。少しずつ、一步一步成長することができたと思っています。先生・コーチ・先輩・保護者の皆様の支えがあったからこそ諦めずにここまでたどり着いたのです。「やる」と決めるか「やりたい」で終わるか・・・次のステップ！目指すところは・・・時間と共に生まれる！！



2023年も糸魚川ジュニア卓球クラブ/TEAM ABLAZEを宜しくお願い申し上げます。

皆様の益々のご発展とご多幸、さらにご健勝をご祈念申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。

糸魚川ジュニア卓球クラブ/監督 渡辺敏雄

「私の迷い、私の努力、私の悩み、押し並べてわたしの生きてきた跡、それらは全て花束の一つ一つの花です。そうして顔齡（たれい）も青春も、欠点も美点も、こうして歌となってみれば、なかなか捨てがたい趣（おもむき）があります」 **-ゲーター-**

謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は糸魚川ジュニア卓球クラブ会員および関係各位の皆様にご挨拶となり、新しい年をお迎え出来ることを嬉しく思います。

昨年度は以前よりもコロナ禍の影響が緩和され対外試合や練習会、遠征等子ども達には様々な経験を積んでもらいました。

その中で嬉しさ・悔しさ・喜び・悲しみ、たくさん喜怒哀楽の感情を味わったと思います。この感情こそが今後の成長に繋がる第一歩となります。ただ単に卓球の勝ち負けの成長だけではなく人間としても大きく成長できるように、本気で一生懸命指導に携わっていきます。

また特に最近ではコーチ陣・保護者の方々に大変尽力して頂いております。こうして今ジュニア活動が行えておりますのは皆様のご協力に尽きます。本年も是非とも糸魚川ジュニアにお力をお貸しくください。

そして私自身も糸魚川ジュニアの指導に携わってから早いもので5年目になります。糸魚川に帰ってきた当時幼かった子ども達が高学年・中学生となり時間の早さを改めて感じます。今も尚たくさんの子も達が在籍しておりますが、子ども達一人ひとりの夢を叶えられるよう尽力して参ります。

本年も宜しくお願い致します。

渡辺 樹



今年は中学校最後の年でした。思い出に残る試合が二つあります。ひとつは、7月にあった国体の少年の部の二次予選です。

富山県の国体の二次予選は、中学生が2名推薦されます。二次予選のメンバーは高校生が7名、計9人の総当たり戦をしました。高校生の上位のメンバーには歯が立たなくて、普段からそれくらいのレベルに勝てるような具体的な取り組みがないと厳しいという現実を突きつけられました。ですが事前に技術的な面を見直していたのもあって、得点を重ねることができました。

結果は9人中7位でした。今までにない緊張感の高い試合を経験することができました。

もう一つの思い出は、夏の中体連の大会です。個人と団体の両方で北信越まで進むことができました。今年中学校に強い1年生が入部しましたが他の部員は中学スタートで部活でしか卓球してない



いい、大会経験もほとんどないから、団体戦で勝ち上がるとことは特に期待していなかったけれど県大会で2位に入賞しました。北信越のベストマナー賞も受賞することができ、部長としてとてもうれしかったです。北信越のときは前日に選手のコロナ感染があったりで、会場練習もできない状態で大会に臨みましたが、ベスト8まで勝ち進み、みんな感動しました。個人戦は願いような結果が出せず、部活を引退する時期を迎えました。

今はこれまで挑戦できなかったことに挑戦しています。今後は文武両道で、卓球を楽しみながら、自分の新しい可能性を拓けてきたいと思います。

魚住 咲月



画（右上/正面）：魚住咲月 作

美しい富山湾クラブ会長賞に選ばれた
絵で伝えよう！わたしの町のだから



器用にケーキカットするコーチ



躍動・感動・前進



時を過ごす！！クリスマス会&忘年会 みんなの

★令和4年12月3.4日 県新人卓球大会 団体戦「想」

私はこのメンバーで県大会1位になり、全国大会へ出場することを目標として練習に励んできました。結果は、予選トーナメントを突破しましたが順位決定リーグで若宮中に負けてしまい県2位という悔しい結果となりました。自分達の実力をこの大会で改めて知る事ができ、良い経験となりました。

このメンバーで上位大会へ出場できるチャンスはあと数回しかありません。今回の県大会の反省を活かして次の大会では上位大会へのチャンスを掴めるよう意識して練習に取り組んでいきたいです。

そして、1月には県大会の個人戦があるので大会に備えて自分の課題を練習で取り組み本番で練習したことを精一杯出せるよう一日一日の練習を有意義な時間にできるよう取り組んでいきたいです。

系中2年
宮本優璃奈



諦めない人が奇跡を起こす



私は団体戦でダブルスとして県大会に臨みました。その前の練習では、監督、コーチ、保護者の方々からいろいろなアドバイスをいただいたおかげで、県大会2位という成績を残すことができました。

改めて振り返って、ダブルスの中では明るい雰囲気をつくることができましたが、足をちゃんと動かして試合をすることはできていなかったと思います。でも、これが自分たちの今の力だと思い、毎日集中してちゃんと練習していればと少し後悔しています。

その中でも私が、1番悔しかったのは若宮中との試合です。ダブルスも3対0で負け、全体的にも3対0で負けてとても悔しかったです。

この大会の悔しさをバネに今回見つけた課題を克服し、日々の練習を大切にして、今後の様々な大会で少しでも良い成績を残していきたいです。後悔しない試合ができるように集中して練習していきますので、ご指導よろしくをお願いします。

系中2年
山崎 茉音

辛い時こそ大切なものが見える



ぼくは県大会に参加して、仲間と協力する大切さを改めて感じました。団体戦は3人勝たないと勝ちにはならないので、仲間を応援して盛り上げることはできました。でも、モチベーションを上げる行動をもう少ししてあげれば良かったかなと思いました。

自分達は1回戦負けという結果で何が足りないか考えた時、1人1人の勝ちたいという強い思いが足りないと思いました。

この負けを次の大会の勝ちに繋がれるように、まずは1本取れるように、自分のレベルをもっと上げて、そこからみんなのレベルも上げられるキャプテンになりたいです。

系中1年
木島 未来

本気からはじまる



12月3日、小千谷市総合体育館で行われた新人卓球大会の団体戦に出場しました。これまでの試合ではドライブの回転意識が弱かったことや、サーブで点を取ろうとするあまりミスしていたため、ミスをしないように練習してきました。1回戦、僕たちは亀田中学校と対戦しました。僕は5番手で出場し、2対2の大事な場面で出番が回ってきました。結果は0対3で、競ることもなく負けてしまいました。とても悔しく、チームに申し訳ないと思いました。次の試合では、同じような場面で出番が回ってきても僕が3本目を取れるように練習をしていきたいです。

そして、2023年のシングルスでは、どんな相手に対しても焦ることなく、冷静に考え判断して確実に得点できるようにがんばります。

系中1年
太田 優也

頑張ることは楽しむこと



県大会の結果は1回戦負けでした。僕の県大会を終えての感想は、『悔しい』です。

団体戦は自分1人が勝ったからと言ってチームが勝てるとは限りません。今回は僕が1番で出場しました。3-0で勝ってチームに勢いをつけれたと思いました。2番で未来君が勝って『いける!』と思いました。でも、結局逆転負けをしてしまいました。

この大会で団体戦の難しさがわかりました。

中体連の大会で団体が勝てるように部活でがんばろうと思いました。そして、1月に個人戦があるのでベスト8に向けて頑張りたいです。

系中1年
佐藤 倫

変えるのは行動



大きな成功は、日々の小さな成果の積み重ね！！



糸魚川中学校県新人女子団体 県2位(2年連続)



★令和4年12月3.4日 Tリーグ観戦「感」

12月3日Tリーグを観戦してきました。ご縁あって知り合った方から、「一緒に最前列でTリーグを見ませんか?」と誘っていただきお言葉に甘えて、一番いい席で見る事が出来ました。3日は観戦前に、日本生命レッドエルフ村上総監督の講習会をしていただいて、短い時間でしたがとても楽しく勉強になりました。「卓球は上手な人の真似をして下さい。」と言っておられて、確かにトップ選手のプレーを意識して見てから、同じ事をするように見える前より出来るようになる事に、感動してきました。試合では、さすがにすごい迫力と、集中力、プレーの華麗さ、上手さ、本当に素晴らしかったです。また機会があれば観戦したいと思いました。
白石友美(莉子ママ)



12月3日行われたTリーグに行ってきました。最初の講習会で日本生命レッドエルフの総監督をしている村上総監督が来てくださり『よく人の真似をすると言われていたが、卓球は上手い人を真似する競技だ』と言っていました。

私は卓球の動画を見る時がないので時間がある時は伊藤美誠選手などいろいろな選手の動画を見て真似できる部分があれば真似をしたいと思いました。そのあとの日本ペイントマレッツと九州アスティエダの試合ではベンチも試合をやっている人も明るく自分たちとは違う雰囲気でした。

私たちは団体でベンチが暗くなってしまふことがあるので常に自分が積極的に声を出し、周りから応援されるチームになれるよう頑張りたいです。

糸中2年 白石莉子



12月4日に新発田へTリーグを見に行ってきました。

私は、伊藤選手と森選手のプレーを目の前で見てすごさを感じました。伊藤選手は、バックの振り方やミートのスピードが早くてすごかったです。森選手は、カットマンのボールを打つ時のブンブンとドライブ攻撃する所が印象に残りました。そして、ブロックの打球点が早い所がすごかったです。

Tリーグを見て私が感じたことは、伊藤選手のようなバックミートの早さを自分も出来るようになりたいです。

それと、森選手のようにカットマンのボールを打つ時のドライブ攻撃を多く出せるようにしたいです。お父さんは麻生選手と写真を撮ることが出来て喜んでいました。

西海小5年
樋口 奏



12月4日にTリーグを見に行ってきました。試合は日本ペイントマレッツ対日本生命レッドエルフの試合でした。有名なとうみま選手も出場していたので頑張って応援したけど負けてしまいました。

会場の雰囲気はプレーの合間に音楽が流れ応援も加わり盛り上がっていました。選手が構えると会場は静まり返って緊張感がすごかったです。応援している仲間は試合をしている選手が点を取ると拍手をしていました。どの選手も点を取られてはてくされていなかったのでも見習いたいです。

またどこかでTリーグがあれば見に行きたいです。

糸小3年
磯谷 悠



～編集後記～

新年最初のFAVO通信【風になれ】第8号はいかがでしたか？
今年も選手の皆さんの活躍・情報を沢山
FAVO通信で発信できるよう頑張ります！

次号もお楽しみに(*^^*)v

取材にご協力頂きました皆さん、有難う御座いました！！

そして今年度も宜しくお願いします 編集担当 杉本千紘/倉又泉



数か月後味わう感動 今日からスタート!